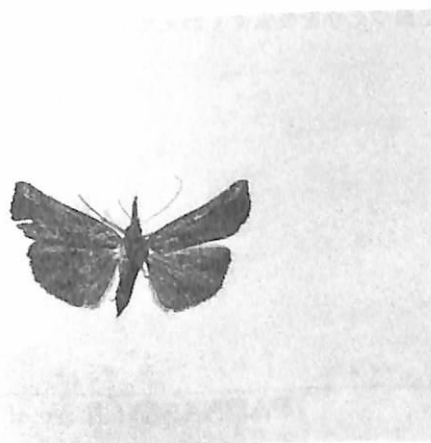


1995年	6月10日	2令幼虫	2匹
		1令幼虫	6匹
	6月12日	卵	4個
1996年	6月22日	1令幼虫	5匹
		2令幼虫	1匹
		3令幼虫	1匹
	7月26日	卵	3個
	7月31日	2令幼虫	3匹
1997年	6月10日	2令幼虫	1匹
	6月14日	卵	3個

以上発見し、そのうちのいくらかを飼育箱で飼育観察した。これらのことから、次のように考えている。私の観察地でのイヌビワの芽吹きは4月10日ごろである。6月上旬まで卵が見られないことから越冬母蝶はここに産卵にはこない。他の場所で羽化した第1化が、6月上旬にここに来て産卵。これらは7月上旬に羽化(第2化)。この第2化母蝶もここで産卵。これらは8月上旬に羽化(第3化)。そしてこの第3化はここから飛び去ってその年は戻ってこない。4年間の観察でここで成虫を採取したのは1994年5月29日の1回きりである。

(たにがわ だいかい)

Hypena lignealis Walker オスグロホソアツバの記録 藤平 明⁴



採集年月日 1995.4.15
場所 南淡町灘大川
方法 灯火採集

4: 〒656-0541 三原郡南淡町阿万上町 794

種 *lignaealis* の基産地はインド。日本からは Wileman(1911) によって四国、九州の標本が記録された。

本州にも産すると思われ福井県武生市、愛知県知多半島、三重県などの報告がある。四国からの記録は香川県からのもので、これから考えると淡路島に産しても不思議ではない。本種は夏に出現するので採集された個体は、秋に産したものが越冬したものと考えられる。

(ふじひら あきら)

編集後記

- ▽ 発行が大幅に遅れてしまいました。原稿を早くからお寄せ下された方々にご迷惑をかけたこととお詫びします。
- ▽ このところ連日のようにマスコミで報道されていますが、明石海峡大橋が4月5日に開通します。地元の自治体がデベロッパーよろしく宅地開発に力を入れているのを筆頭に、さまざまな自然環境への脅威が待ちかまえています。
- ▽ これまでややのんびり構えすぎた感もありますが、より一層島の昆虫相解明に力を注ぎ、自然と共存する島づくりを根気よく訴えていきたいと思えます。(TB)

PARNASSIUS No.46

1998年3月16日印刷

1998年3月20日発行

編集者 登日邦明

発行所 淡路昆虫研究会

〒656-2151 兵庫県津名郡津名町大町畑235

郵便振替 01170-3-49591

印刷所 れいめい社

〒656-0025 兵庫県洲本市本町5丁目1-24